

科目名	基礎情報処理	科目コード 21180
------------	---------------	----------------

学科名・学年	電気電子システム工学 科 1 年	担当教官	矢野 昌平 (電気) 宮崎 敏昌 (電気)		
単位数	2 単位・必履修	開講期間	通年	時間数	60 時間
				内訳^(時間)	講義(26), 演習(26) 実験(0), その他(8)
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク社会における情報の活用と技術 (実教出版) ・ 平成 16 年度情報処理共通テキスト (長岡高専) 				
補助教材	資料を配付				
参考書					

A 科目の概要	
<p>情報化社会と呼ばれる今日、情報や情報機器を正しく使えることは、技術者として必須事項である。本科目では、本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて、コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。具体的には、Windows の基本操作法、電子メール・ブラウザソフトの操作法と利用時のマナーについて学ぶ。また、情報機器を用いた問題解決に最低限必要な科学的・技術的知識から、データ処理・プレゼンテーション・報告書作成に関する情報機器の利用までを、座学及び実習を通じて学習する。</p>	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・本校の情報ネットワークの利用方法を習得する (ブラウザソフト・電子メールの送受信等) ・情報を操作する上での注意事項(マナー・エチケット・セキュリティ等)について理解し、実践出来るようにする ・文書作成・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基礎的な利用方法を習得する ・ユーザ、技術者、社会の一員の3 視点で情報や情報機器を正しく扱う基礎を習得する ・コンピュータ及び情報通信ネットワークについて、その概略を理解する 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
<p>皆さんが技術者として成長する将来において、コンピュータは必須の道具となります。コンピュータに使われないうちに、苦手意識を持たず積極的に実習に取り組んで下さい。本科目の受講を通じて、常に自問自答しながら、論理的な思考で問題を解決する姿勢を習得して頂きたい。また、情報ネットワークを利用する際には、実社会以上にマナーの遵守が求められます。コンピュータを道具として使いこなす事だけではなく、情報ネットワークにおけるマナーやエチケットを十分理解し、それを実践出来るようにして頂きたい。</p>	
E 評価方法	
<p>学習発表会及び授業に取り組む態度(10%)、前期末テスト(40%)、学年末テスト(50%)の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50 点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	授業到達目標説明, 情報の概念	
2	情報機器長岡高専の計算機システム概説, Windows の基本操作)	
3	情報の収集整理(1), Windows の基本操作(2)	
4	情報の収集整理(2), Windows の基本操作(3)	
5	情報の収集整理(3), Windows の基本操作(4)	
6	情報の発信・交換と評価(1), 電子メールの仕組み概説, 電子メール基礎(1)	
7	情報の発信交換と評価(2), 電子メール基礎(2)	
8	情報の発信交換と評価(3), 電子メール基礎(3)	
9	情報の収集整理・加工・表現(1),	
10	情報の収集整理・加工・表現(2)	
11	情報の収集整理・加工・表現(3)	
12	情報の収集整理・加工・表現(4)	
13	演習1 報告書の作成	
14	前期末試験	
15	試験の返却と解説	
16	問題解決の方法論	
17	コンピュータの仕組み	
18	情報通信ネットワーク	
19	情報のデジタル表現(1)	
20	情報のデジタル表現(2)	
21	コンピュータ上の問題解決(1)	
22	コンピュータ上の問題解決(2)	
23	情報の管理とセキュリティを守る技術	
24	演習2 データの解析・処理	
25	演習3 データの解析・処理	
26	演習4 プレゼンテーション資料の作成	
27	演習5 プレゼンテーション資料の作成	
28	学習発表会	
29	後期末試験	
30	試験の返却と解説	